

2022（令和4）年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2023年6月

大井うさぎ幼稚園

1. 本園の教育目標

「自分で考えて、自分で行動できる」ようになること

2. 重点目標

感染対策をしながら、一人一人の幼児を大切にされた質の高い教育の実践

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 教育環境 コロナウィルス感染症も今年で3年目となり、年長児、年長児の保護者に対し、出来る限り幼稚園での楽しい思い出が残るように対策を実施し、実行する。	A	秋の日保育、誕生会後の昼食会など対策を実施しながら、実行することが出来た。給食を保護者の方と一緒に食べことは良い機会になった。可能な範囲で「参観」の機会を増やせた。保護者の方の参観人数を抑えて、日常保育参観を実施し普段の子どもたちの様子を伝えることが出来たと思う。
(2) 教育環境 朝の自由遊びの時間に、数週間ごとに新しい遊びを設定し、子どもたちの遊びを充実させること。	B	朝の自由遊びの設定の中で、体を動かす遊び、集中して楽しむ遊び、想像力を育む遊びなど、年齢を問わず楽しめる遊びを展開することが出来たと思うが、業務が増えた中、自由遊びの準備等で職員の業務負担が増えたという意見もある。
(3) 特別支援教育 子どものありのままの姿を受け入れ、子どもそして家庭に対しても、一人一人に合ったサポートを柔軟に行うこと	B	支援が必要な子どもに対し、担任1人で抱え込まず、園長とも連携を図り、保護者に分かり易く状況や対応を伝えることが出来ていた。特別支援の専門家の意見を聞くことで、幅広い視点や就学を視野に入れた見方で、子ども一人ひとりに合わせた援助やクラス運営、保育をするうえで大切なことを見直す機会を持てた。専門家からの助言の内容を、担任だけでなく他の職員にも伝え、園全体で見直せたら良いと思う。
(4) 教育環境 英語や水泳など、園の教員以外の講師から指導を受けることで、興味関心を広げること	B	【英語】繰り返しの内容（挨拶、数字、天気）は楽しく行えるが、毎月変わる季節やゲームなどは理解できないまま終わっていた。 【水泳】講師に対して安心感を持つ事が出来、苦手な子も胸囲や意欲を持って参加できた。

評価

(A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない D 取り組みが不十分である。)

4. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園庭遊具の使い方を定めていたが、職員全体へ周知出来ていなかったため、ルールを周知し、子どもへの対応が曖昧にならないようにする。 朝の自由遊びを充実させる取り組みを行ったが、一部職員の負担になっていたため、無理なく進められるように対策を考えて実施する。 2コースの子どもたちの遊ぶ時間が朝十分にとれないこと、交友関係が限定的になってしまうため、一斉保育の始める時間を見直す。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園内整備	園庭、保育室での遊び方を職員全体で確認する。
適正な生活指導	制服を正しく着用する。 トイレの手洗い、消毒の確認を行う。 ハンカチ、ティッシュを携帯し使用する事を伝えていく。 自分から挨拶をすること、目を見てお礼を言うことの大切さを伝えていく。
保護者に対する適切な情報提供	HP「子どもたちの様子」だけでなく、今日何をして過ごしたのか、簡単な内容を当日中に伝えていく。
園児・職員募集	当園に興味を持っていただいた方に定期的な情報発信を行い、広報活動を行う。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- 朝の自由遊びの内容や、毎日の保育内容が保護者の方に伝わらない為、日々の更新を写真だけでなく、簡単な説明を加えて更新すると良いのではないかと思います。
- 個人面談を1学期と2学期のみなので、進級や入学に向けての話が出来るように3学期に個人面談期間を設定すると良いとの意見があった。
- 保護者アンケートの結果から、教育目標、重点目標に向けて、十分な取り組みが行われていると感じられる。